MESSAGE

青葉台連合自治会新体制の
ご案内と挨拶

会長 斉藤秀樹

日頃より自治会活動にご理解とご協力をいただき
厚くお礼申し上げます。
後任体制が以下のように決まりましたのでご報告いたします。
今後共一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

会長	斉藤 秀樹	若草台自治会長			
副会長	下山 和洋	しらとり台自治会長	**副会長**	森 和夫	桜台成合自治会長
会計	小池 康喜	青葉台２丁目自治会長	**総務**	宮崎 良雄	桜台南自治会長
監事	大塚 眞	榎が丘東自治会長	**監事**	三部 昭	スポーツ推進員

今後の活動予定について

青葉台連合自治会は23の単位自治会から構成された組織で、区内でも2番目の規模になっています。これら各自治会と行政との円滑なつなぎ役としての機能が求められます。
地域住民にとって暮らしやすい街づくりを目指して微力ながら貢献していきたいと思っています。
永年続けてきた駅周辺の「環境浄化活動」や「青葉区民まつり」への出店、年末の「桜台公園焼き芋会」など、引き続き実施していきますのでぜひご参加ください。
改めて宜しくお願い申し上げます。

編集後記

寄稿にお伺いに伺った方々に、快諾とともに企画に感謝もいただき、
想いのこもったそれぞれの文章をありがとうございました。
新たに経験豊富な担当の広報も発足し、新誌面が完成いたしました。
読者の心の一頁に、故・山川会長の在りし日の姿が蘇りますよう…。

青葉台連合自治会会長　斉藤秀樹、広報部　吉田周三江

**青葉台連合自治会へのご質問、手続きなどに関しては
各自治会の会長までお問い合わせください。**

青葉台連合自治会 ホームページはQRコードから ▶▶▶

青葉区制30周年 30 anniversary AOBA

発行人:斉藤 秀樹
編集:青葉台連合自治会広報部

No.51
2024年7月

AOBADAI UNION COMMUNITY ASSOCIATION NEWS

青葉台連合自治会ニュース

『魅力ある街・青葉台』を目指して

青葉台連合自治会は23の単位自治会（約1万1千世帯）からなる青葉区で2番目に大きな連合自治会です

故・山川英子 青葉台連合自治会会長 追悼記念号

故・山川英子会長
追悼記念号発行に寄せて

去る4月21日ご逝去された山川英子様は30年以上の永きに亘って様々な地域活動に携わってこられ、この間多くの方々との交友がありました。青葉台連合自治会では、せめてものご恩に報いる一端として永年の交流のあった方に追悼の言葉を寄せて頂き往時の写真と共に、ここに連合ニュース特集版を企画しました。皆様にご一読いただき、改めて故人への心からの哀悼の意を表したいと思います。

青葉台連合自治会会長　**斉藤 秀樹**

山川英子様略歴

1998年	（青葉台連合自治会発足）
1990年～2024年	桜台東自治会会長
1992年	青葉台連合自治会会計
2000年	青葉台連合自治会総務
2002年～2024年	青葉台連合自治会会長

青葉台駅周辺での環境浄化活動の発端は、1979年有害図書追放運動に始まり、1990年から現在の形で本格活動して今に続く息の長い活動です。
社会福祉法人青葉台地区社会福祉協議会（通称「社協」）の会長職も長く務めた関係で、協同体制で環状4号線沿いの環境美化を中心に数々の地域事業を盛り上げてきました。

旅立った姫へ

山川氏との付き合いは永い。彼女が結婚して青葉台に住みだして以来だった。商店会として彼女の父上との接点ができて、「娘を宜しく」と引き合わされて以来40年以上だ。近所でもあり、若かった彼女にしたら、なんでも頼られる存在であったようだ。人の背中はよく見るが、自分の背中は見えない。山川氏は、めったに他人に背中を見せない人だった。しかし私には時々チラリと弱みを見せていたようだ。ある時、「頭にきて寝付けない」と言うので、夜半に紅茶とブランディーを届けたこともあった。いつか一緒に食事した折、「私はゴーヤみたいでしょう」と言う。「苦くて、好き嫌いが多いのよね」と自分の事は分かっていたようだ。そして続けて「でもね、料理の仕方によってはおいしいのよ」と。私のこと「爺」と呼んでいた。時代劇の「姫さま」に仕える「老爺」の世界。「私の手を引いてくれとは頼んでないよ。背中を押して欲しいだけよ」これが決めぜリフ。そして「私は会長なのよ」と続く。彼女にしては、何でも言いやすい存在だったようだ。よく意見が衝突したが、「言い過ぎた」と思った時は、2, 3日後には1升瓶が届く。そんな二人の気の置けない関係だったが、爺への言葉は、ひとり寂しき甘えと強がりのセリフだったのかもしれない。

「姫よ、まさか爺より先に逝くなんて」　合掌

注記・山川氏は都内世田谷代官屋敷として江戸時代から続く大場家の直系の女性

現桜台商店会会長　目黒 測

さようなら山川英子さん

「山川英子さん!山川さん!」もう呼び掛けても二度と応えることはない。
あなたは何故こんなに早く逝ってしまったのでしょうか。
思い起こせば、もう40年に及ぶ長い長い、本当に永い「お付き合い」でした。長いようで短いと言いますが、今思い返すと走馬灯のように脳裏を駆け巡ります。楽しかったこと、苦しい思いをしたこと、悲しかった出来事、お互いがそして皆が若かった頃からの、いろいろな出来事があとから、あとから懐かしく浮かんできます。
共に同じ道を歩んで苦楽を共にしてきた、仲間の田中恭子さんとも同じ思いを分け合って、長かったここまでの、共に歩んできた人生の1ページを深い感慨の中で振り返っています。
決して平坦な道ばかりではありませんでしたが、そちらへ行ったら、又ゆっくりと昔話をしましょう。
安らかにお眠りなさい。

元連合自治会副会長　木元 都恵子 / 現地区社協副会長　田中 恭子

言い尽くせぬ感謝

山川英子会長は桜台東自治会の会長職を長きにわたって務められ、私は副会長として十数年を共に活動してきました。叙勲褒章を賜ることが内定し「5月には皇居に行くから、新しいドレスを買ったのよ」とドレスを着た写真を見せて明るい笑顔で話していたことが昨日のように思い出されます。ご逝去されたことが未だに信じられず、誠に残念でなりません。山川会長の功績と暖かな励ましは、桜台東自治会にとって永遠に消える事のない光となります。山川会長が長年に亘って築き上げた精神をこれからも受け継いでいきたいと思います。
生前のご厚情に感謝し、心からのご冥福をお祈り申し上げます。

桜台東自治会　会長　山本 純子

山川さんを偲んで

左から田中氏、山川氏、藤本氏、木元氏

私自身、2か月弱の入院生活から帰宅しましたら、昨年暮れに山川さんから頂いたシクラメンの花が見事に2度咲きしていました。
留守中の嫁の手入に感謝し、写真に撮ってお礼のメールを彼女に送ったら「お手入れよく花も幸せ」と返事のメールが届きました。
それが4月11日の出来事でした。
「嬉しくて、消去せずに記念に保存しています」
何十年も前、「鮨亀」での連合自治会新年会に遅刻してきた山川さんは、美しい着物姿で「前の会合から駆け付けました」と言い訳をしながら席についたのを記憶しています。「桜台東の自治会長は若いんだ」の印象でした。
それから、親子ほどの年の差にも関わらず妙に気が合って、一緒に行動することが多くなり、発展途上の青葉台の街づくりに励んだものでした。
駅周辺の交通渋滞・不法駐輪問題・違法ビラの撤去・公園整備・環状4号線の清掃・防災訓練・お祭り企画等々です。一方では保護司としての活動も立派にこなしながら生来の決断力・実行力と明瞭な言語で余人をもって替え難い人でした。
青葉台連合自治会長と社会福祉協議会長との2足の草鞋を履きながらさぞや多忙な日々だったことかと拝察しています。引退後の私との時折の会食などで、世間話を交えて近況報告をしたりと楽しいひと時を過ごして、忘れられない思い出になりました。
永い間に亘って、本当にお疲れ様でした。そして、心から有難う!

「青葉台の　母と呼びくれ　季毎花　賜びし友逝き　ただ呆然」　合掌

山川会長就任時の副会長他、多くの要職を務められた重鎮的存在　藤本 静江

山川英子会長 追悼

山川前会長から昨年の青葉台地区社会福祉協議会総会で、会長を引き継ぎ、1年が過ぎた矢先の4月21日急なご逝去に言葉を失いました。今年度も副会長として、地区社協に残ってもらい、色々と教えて頂くつもりでおりましたが残念でなりません。心よりお悔やみを申し上げご冥福をお祈り申し上げます。
桜台東自治会長の立場で青少年指導員、体育指導委員、少年補導員の委嘱を受け、いつも気軽に仲間の皆さんと楽しく地域活動をした事が頭に浮かびます。
私は山川さんと同年代ですが、保護司は大先輩で自主研修会などでも経験した事例などお話いただき勉強させて貰いました。
社協打ち合わせの際、山川さんがスケジュール手帳を開くとほとんどのマスが書き込まれているので、予定入れ過ぎでないのと言った事もたびたびでした。
山川さんの『魅力ある街・青葉台』をこれからも地域のみんなで守ってまいりますので、天空で見守ってください。
安らかなご永眠をお祈りいたします。

青葉台地区社会福祉協議会　会長　三部 博